

空き家バンクの活用促進に関する取組

計画推進課

【事業背景】

- ・ 県移住ポータルサイト内の空き家バンクに掲載されている空き家が少ない
 - ・ 市町村担当者は、独自の空き家バンクや全国版空き家バンク（LIFULL,at home）等複数の空き家バンクに空き家情報を入力する必要があった
- 県移住ポータルサイトと全国版空き家バンクを連携できないか

【課題・方向性 等】

- ・ 引き続き、市町村に空き家バンクへの掲載を依頼
- ・ 移住検討者のニーズに沿うような空き家の発掘
- ・ 移住検討者が情報を見つけやすくするなど、ユーザビリティの向上を図る
- ・ 県移住ポータルサイトと全国版空き家バンクの連携が週1回の手動更新であるため、情報の即時性確保及び事務負担軽減のため、連携を自動化したい

【これまでの取組み】

- ・ 令和4年度から、LIFULL全国版空き家バンクと県移住ポータルサイト「Re:BARAKI」の連携開始。本県サイトに掲載されている情報を全国版空き家バンクと連携（週1回）
- 各市町村側の登録を省力化することで、掲載数が各段に上がった。
- 移住検討者が、県内の空き家情報を入手しやすくなった
- ・ 空き家バンクへの登録促進や空き家の情報の収集方法等をテーマに外部講師を招いて市町村職員向け研修会を実施

【写真・イメージ図 等】



古民家を活用した茨城ブランド力向上事業（H30～R2 地方創生交付金事業）

地域振興課

貴重な地域資源である古民家について、地域振興拠点としての多様な活用方法を構築し、各地域の資源などと連携させながら広域展開を図ることにより、本県のイメージアップ・ブランド力の向上を図る

1 古民家活用実態調査の実施

県内古民家の状況や、県内市町村における古民家活用に係る意向等について、実態調査を実施

2 古民家活用合同研究会の運営

有識者による合同研究会を設置し、古民家改修モデルケースに係る状況の整理、活用方策の検討を実施



古民家活用合同研究会の様子 ▶

※古民家活用合同研究会は、R5年度から事務局を民間に移し「いばらき古民家活用協議会」として活動を継続中

3 古民家活用セミナー等の開催

古民家の所有者や活用希望者等を対象にセミナー等を開催し、「地域の賑わいづくりに活かされている活用事例の紹介」や「参加者同士で交流が図れる場の提供」、「個別相談会」などを実施



いばらき古民家活用セミナー等（R元年度、R2年度開催） ▶

4 古民家の活用や支援に係る冊子の作成

古民家の活用を検討している方や古民家の魅力を楽しみたい方の参考として、また、誘客や移住の促進、空き家の減少等を図るため、県内の古民家の活用事例を紹介する冊子や古民家の改修支援に係るガイドブック（関係法令への対応や相談窓口の紹介等）を作成



茨城古民家活用事例紹介冊子「いばらき古民家ブック2020」



古民家活用ガイドブック「いばらき古民家読本」

5 古民家の改修支援

有識者等による古民家活用合同研究会での協議を踏まえて選定した「古民家改修モデルケース」（県内古民家活用の広域展開を図る上でモデルとなる物件）の改修等を支援



<2019年度>古民家改修モデルケース
かすみがうら市「古民家江口屋」



<2020年度>古民家改修モデルケース
大子町「旧成家住宅」